

Archive for 1 月, 2011

[人と自然科 若手地域農業リーダー研修\(ブラジル研修\)反省会・解団式に参加](#)

月曜日, 1 月 31st, 2011

先日紹介した(1月5日ブログ参照)若手地域農業リーダー研修(ブラジル研修)の解団式が1月24日(月)に播磨農業高校で行われ、本校からも研修に参加した4名が出席しました。この研修は県立高等学校の農業に関する学科に在学する生徒ならびに県立農業大学校に在学する学生の代表を16日間海外(ブラジル)に派遣し、各種研修を実施させることにより農業後継者の育成を図ることを目的とした事業です。

研修最後となるこの日はまず、研修を振り返るということで、一人一人がホームステイや農業研修、施設見学などを通して感じたこと、自分が成長したこと、こんなことやりたかったなどそれぞれが今考えていることを発表しました。



そして午後からは、最後の行事となる解団式。お世話になった兵庫県や兵庫みどり公社の方、そして保護者の方も見守る中、粛々と進められました。



来賓のあいさつの後、研修生から、パワーポイントを使っでの研修報告がありました。写真1枚1枚に写っている研修生の顔はどれも生き生きと、充実した表情でした。



そしてこの研修中、ブラジル兵庫県人会50周年式典に兵庫県知事とともに出席した経緯もあり、兵庫県知事からのメッセージ(手紙)が参加者一人一人に手渡されました。



二度と体験できないかもしれないこの経験を、今後の学校生活、社会生活に是非役立ててほしいと思います。

生物活用 最終回 コーヒー焙煎実験

月曜日, 1月 31st, 2011

生物活用の授業で行っている様々な実習を紹介してきましたが、先日ついに開講している3年生の授業が終わりを迎え、今回は最終回となりました。最後はコーヒーの焙煎実験をご紹介します。

まずはコーヒーについて学びます。コーヒーはコーヒーノキ(コーヒーノキの木)から採れた実を焙煎し、ドリップしたものです。よく『ブルーマウンテン』などの名前を聞きますが、これは国名(コロンビアなど)や山域(キリマンジャロなど)積出港(モカ)などの名前をつけています。

さらにコーヒーには様々な健康効果があり、覚醒作用として有名なカフェインにはダイエット効果があるともいわれていますし、ニコチン酸には、コレステロール値を下げるともいわれています。

(このような話をしているとキリがないので、この辺でやめておきましょう。)

さて、いよいよ実習。今回は『ブラジル』『コロンビア』『ベトナム』の3種の生豆を準備しました。



目的は2つ

- ①コーヒー豆の種類によって、味や香りが異なるのか。
- ②同じ種類の豆でも、焙煎度によってどのように味や香りが変化するのか。

生徒は、フライパンを使って自分の目指す焙煎度にローストしていきます。



ちなみにコーヒーは焙煎度によって

(浅煎り)ライト→ミディアム→シナモン→ハイ→シティー→フルシティー→フレンチ→イタリアン(深煎り)

に分類されます。生徒は色と、焙煎時に豆から出る音(ハゼ音)を頼りにローストしていきました。(フライパンなので少しムラが出てしまうのは仕方ないですね)



焙煎が終わったらすぐにミルしていきます。



そして、すぐにドリップして挽きたての味や香りを確認していきました。(ちなみにコーヒー豆を焙煎した後、放置しておくと酸化してしまい、味や香りが増えるので要注意です。)



生徒は、豆の種類によってこんなにも味が違うのかとびっくりしていました。(一番人気はブラジル。ベトナムが一番クセがあったようです。)また、浅煎りのほうが酸味が強く、深煎りにするほど苦味が出てくるということを実際に舌と鼻で感じていました。さらに時間が余った生徒は、自分たちが焙煎したコーヒー豆を使ってオリジナルブレンドを作り、味や香り確かめている光景も見られました。



いかがでしたか？今まで様々な実習を紹介してきた生物活用。このように有馬高校では、特色ある様々な授業を選択でき、普段味わうことのできない体験を通して多くのことが学べます。中学生の皆さん、有馬高校に入学し、様々なことを経験してみたいはかがですか。お待ちしております。

とりあえず今年度の生物活用授業紹介は最終回。また4月に新しい選択生を迎え、様々な学習内容を紹介したいと思います。

学習活動発表会に向けて準備中！！

金曜日, 1月 28th, 2011

2月5日(土)の学習活動発表会に向けて、あちこちで準備が進んでいます。

総合学科1年次生の「産業社会と人間」では、この1年間で学んだことを壁新聞にまとめています。どうすれば見やすくわかりやすくできるかを考えて、各クラスで趣向を凝らしています。



人と自然科の発表の1つは、「ナチュラルキープ」の授業発表です。下の写真は、リハーサル風景。生徒同士で発表をチェックし、「ここはわかりにくいから、こう直したら・・・」と活発に議論をしています。



下の写真は、英語のスピーチの練習です。英語の先生に発音をチェックしてもらっています。丹有地区の大会で1位になった生徒ですが、まだまだ練習は続きます。



この発表会では、人と自然科、総合学科の特色のある取り組みを生徒たちが様々な趣向を凝らして発表します。これを見れば有馬高校がわかる！という発表会です。

去年は、

【本校保護者】生徒全体が発表会を盛り上げ、成功させたい気持ちが伝わった。子どもも学校生活を楽しんでいる理由がよくわかった。通わせてよかったです。あと1年、子どもの良いところをどんどん伸ばしていければと思います。

【中学生】有高に入ったのが初めてだったので、授業内容や課題を発表で知れてよかったです。

【中学生保護者】学校の雰囲気や生徒の皆さんの様子を垣間見ることができて、来て良かったと思いました。

という感想を頂いています。

今年も、本校保護者、中学2年生(中学校の先生にお問い合わせ下さい)、中学生の保護者の方(事前の申し込みは不要です)に公開しております。是非、ご観覧下さい。

平成22年度 高校生地域貢献事業発表会にて本校が優秀賞受賞

金曜日, 1月 28th, 2011

1月22日(土)神戸アートビレッジセンターにて、平成22年度高校生地域貢献事業発表会が開催されました。現在県立高校では、高校生が地域社会に貢献できる取り組みを企画し、地域社会の力となる様々な活動を展開しています。

今回各校が特色ある活動について発表し競い合う、地域貢献事業発表会が行われ、丹有地区代表として出場した本校が見事優秀賞(第2位)を受賞しました。



発表では、今年度有馬高校スローガンである『Power up ARIMA』を合言葉に、人と自然科の生徒が地域の方に農業を教える『クラインガルテン(市民農園)』や総合学科の生徒が小学生に理科を教える『ようこそ有高実験室へ』など、様々な活動を通して、地域をPower upしながら自分たちもPower upしていく、というストーリーで進めていきました。



最初に会場が盛り上がった場面は、ラピッドリーディング専攻生が披露した、小高連携事業『Let's play together!』の実演です。観客を小学生に見立てて英語歌『Head, Shoulders, Knees and Toes ♪』を踊りながら歌いました。共に参加した農業クラブ・家庭クラブの生徒が会場に降りて一緒に踊ったこともあり、観客の方も多く参加してくださり、笑い声が聞こえるなかで楽しく進めることができました。



次に会場が盛り上がったのが交通安全お守りの配布です。家庭クラブの伝統ある活動で、丹精込めて折った折り鶴に交通安全の標語の書かれた短冊を取り付けたマスコットをお守りとして、地域の方に配布しています。この日は約250個用意し、会場に来られた方へプレゼントしました。舞台上での巨大折り鶴を使用した、お守りの説明も好評でした。



そしてクライマックスは農業クラブの生徒による意見発表の披露です。タイトルは『新しい田園風景を次の世代へ』。自然科学部でのホタル再生活動や人と自然科での地域貢献活動を通して、農業と環境との関係について思ったことをまとめた発表は圧巻でした。観客の中には、目がウルウルしていた人もたくさんいらっしゃいました。



このように参加した生徒が全力を出し切った結果、第2位となる優秀賞を頂くことができました。



これからも有馬高校は、地域とともに Power up していきます。

[人と自然科 3年 フローラルアート 卒業制作作品紹介](#)

金曜日, 1月 28th, 2011

人と自然科では、選択科目として学校設定科目 フローラルアートを選択できます。この科目は、草花(切り花)の栽培実習を行い、草花への興味と知識を深めるとともに、フラワーアレンジメントの知識と技術を習得できる授業です。2年生から3年生にかけて2年間継続し、知識・技術を身に付けます。

このたび、3年生フローラルアート専攻生13名が、2年間の集大成としてフラワーアレンジメントの作品を製作しました。専攻生はそれぞれが想いをこめて自分自身でデザインし、花材なども自分で準備・製作しました。すばらしい作品をぜひご覧ください。





いかがですか？どれもアイデアいっぱい、個性的で、プロ顔負けの出来栄です。（実物は写真で見ると以上に素晴らしいです。）

[総合学科 発達と保育 幼稚園見学](#)

金曜日, 1月 28th, 2011

1月27日(木)、総合学科選択科目「発達と保育」の授業で、2年次生14名が、三田幼稚園を訪問しました。

窓の外から、先生の指導や園児の様子を見学し、幼稚園での生活の実際を学びました。最後に、教室に入り、園児たちに挨拶をしました。高校生は、はじめは照れくさくて緊張していましたが、園児たちの大歓声を受け、すぐに笑顔になりました。



3年生になれば、遊びやおもちゃなど自分たちで考え、保育実習に行く予定です。現3年生の先輩たちは、ペープサートやエプロンシアターなどいろいろと工夫していました。2年生も、今日の体験から様々なイメージが沸き、来年実習に行くのを、今からとても楽しみにしています。

[人と自然科 課題研究発表会 開催](#)

火曜日, 1月 25th, 2011

1月20日(木)人と自然科3年生による課題研究発表会が開催されました。



課題研究は、人と自然科での実験や実習、座学で学んできたことを基にして、自分で研究や製作に関する課題(テーマ)を設定し、計画、実施する科目で、この日ついに3年間の集大成ともいえる発表会を迎えました。各部門の発表テーマの一部を紹介しましょう。

～草花部門～

- ・ハーブガーデンの作成
- ・バンジーのわい化
- ・草花を利用してセンチュウを防止できるか
- ・ガーベラの酵素散布による開花作用
- ・わたを育てる

～環境部門～

- ・さし木による造園材料の増殖とインドアガーデンの製作
- ・袋掛けに利用する袋の色がマスカットに与える影響
- ・藤稔の摘粒による肥大調査
- ・竹チップでマルチ

～野菜部門～

- ・光の色が植物に与える影響
- ・落花生の栽培
- ・音楽によるトマトの高糖度化
- ・磁石によるメロンの高糖度化
- ・コンパニオンベジタブルガーデンの設計



などなど、ユニークな研究発表が繰り広げられました。生徒は自分たちが3年間学んできた全てを、観客に一生懸命伝えていました。課題研究発表会が終わるといよいよ卒業が近づきます。最後の卒業考査も全力で頑張りましょう。

人と自然科 農業科学基礎 ブドウ畑への堆肥投入

火曜日, 1月 25th, 2011

1月に入り、人と自然科1年生農業科学基礎で栽培しているブドウの畑に、堆肥などの肥料を投入しています。12月にご紹介した、穴肥え用の穴掘り実習。(12月21日ブログ参照)その穴に今年もおいしいブドウを實ににつけてくれるように、肥料を施しました。

山積みになった堆肥(牛の糞・もみ殻)を一輪車で畑まで運びます。辺り一面、なんとも言えないいい臭い??のなか、生徒は黙々と運びました。(みんな笑顔です)



そして11月に学校中から集めた落ち葉(11月18日のブログ参照)と共に、穴に投入します。穴の中には油かす・石灰などの肥料も施しました。



投入後は、ショベルで混ぜ込み、土を戻していきます。



そして畑全面にも、肥料を施し、耕うんして(耕して)完成です。



次回の実習はブドウの剪定を学びます。本当に人と自然科の生徒は実習が大好きです。

人と自然科 地域自然保護 体験プログラムの発表

月曜日, 1月 24th, 2011

1月18日(火)人と自然科3年生選択科目(学校設定科目)地域自然保護の授業にて、体験プログラムの発表会が開催されました。地域自然保護では9月からありまふじ公開セミナーと連携し、有馬富士公園での実習や、専門家を招いた講義を受講し、それらの体験をもとにして、生徒自らが地域の方を対象とした、有馬富士公園での体験プログラムを企画してきました。



有馬富士公園で活動されている方々やいままでお世話になった講師の先生方が見守る中、3班に分かれて発表が行われました。生徒が考えた企画は以下の通りです。

・イルミネーションによる公園の装飾



公園入口の大木をシンボルツリーとして、周囲をイルミネーションで装飾。その木に願い事を結び付けたり願いが叶うという場所(パワースポット)にすると来園者、特に高校生等の若い人が増える。

・かやぶき民家の生活に TRY



有馬富士の中を散策し、野草やキノコを GET。それらを公園内にあるかやぶき民家で料理する。(囲炉裏や釜を使用)さらに、かやぶき民家をボランティアで守っているお年寄りの方にも昔ながらの生活の知恵を伝授してもらう。

・もちつきクラブ



モチを食べるということを最終目標にした、無料の会員制クラブを設立。公園内にある棚田を利用して、もち米を栽培。栽培中には棚田に生息する様々な生き物の観察も行う。そして、収穫したもち米で餅つき大会をするが、1年間頑張って栽培をしてきた会員しか餅つき大会に参加できない仕組みとする。

このように、約半年間の講義・体験を活かした、高校生らしい素晴らしい企画ができ、さらには発表後の質疑応答も活発に行われ、とても充実した時間となりました。



これらの発表をまとめた模造紙は、有馬富士公園パークセンター入口に掲示されます。訪れた際はぜひご覧ください。

そして、約半年間にわたりお世話になった講師の先生、公園関係者の方、素晴らしい体験を本当にありがとうございました。



[科学部 池尻川で水制設置工事](#)

月曜日, 1月 24th, 2011

科学部では、平成19年度より、武庫川上流ルネッサンス懇談会に協力頂きながら、コンクリート三面張りの池尻川にホタルを増やす取り組みを行っています。池尻川とは、ウッディタウンとフラワータウンの間の谷を流れる川です。

1月16日(日)、川の水は凍りつき雪のまい散る寒い中で、第3回目の水制設置工事を行いました。水制とは、川の水の流れを変えるために角材や石などを河床に固定するものです。科学部では、ホタルの幼虫とその餌になるカワニナをふやすことを目的に、これまで2回の水制設置を行い、その効果を検証してきました。今回は、これまでの反省をふまえ、さらに改良型を考えました。

作業は、川の氷を取り除くことから始めます。氷をバリバリ割るのは結構楽しく、寒さにもかかわらず部員のテンションも上がっています。



左岸側には、角材を組み合わせた水制を作ります。河床にアンカーを打ち込みボルトで固定するのですが、穴の位置を合わせるのが難しくて難航しました。右岸側には石を並べて島を作ります。人の頭ほどの大きさの石を並べ、その石を置く位置にドリルで穴を開けていくのが大変です。ドリルは M 君が一人ががんばりました。



9時半から始めて午後1時半までかかって、角材の水制を3ヶ所、石の島を1ヶ所作りました。後半は、寒さで口数も少なくなりましたが、完成した達成感に大満足で、最後の記念写真はみんな笑顔です。



今回の工事も、武庫川上流ルネッサンス懇談会のみなさんに協力して頂きました。ありがとうございました。

科学部のこの活動は、「小さな自然再生」～小さな工夫でいかに自然の多様性を取り戻すか～というテーマのもとで行っています。